

第 11 班

1. タイトル：人口減少時代のまちづくり ～シュリンキングシティ（縮小都市）の実現～
2. 報告書の概要：急激な人口減少化時代に突入し、中心市街地が空洞化した地方都市において、拡散した社会インフラの維持更新の継続は、自治体財政が悪化する中で、どのような影響をもたらすか、という問題意識から、データ分析により人口規模が小さく可住地面積が大きな地方都市の住民ひとり当たりのインフラ維持更新費が極めて高い状況になることを予測した上で、政策目標として地方都市において増大する住民ひとり当たりのインフラコストの解消や、人が中心市街地に集まり幸せに暮らせる仕組みづくりに資するとの認識の下に次の提言を行った。 シュリンキングシティ（縮小都市）の実現①段階的な集住、②モザイク型集約、③中心市街地への仕掛け
3. 引用している事例：①夕張市（行政負担の軽減へ向けた公営住宅への集約化）、②NPO法人グラウンドワーク西神楽（地域コミュニティ継続への重要性）、③ふらのまちづくり株式会社（経済循環可能で雑多な中心市街地形成の重要性）
4. アンケート調査の有無 : 無